

※チャレンジ・アドベンチャールートは使用できません。
ファミリールートをご利用ください。

2025年3月改訂

「水晶山登山研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

標高 90.3m の水晶山の山頂を目指して登山する。途中から頂上まではロープを伝って登っていき、頂上付近では青少年交流の家やその周辺、瀬戸内海の景色を眺めることができる。

2 ねらい

- ・グループで登山することで、自然に親しむとともに、仲間意識を高める。
- ・協調性を高める。



3 対象者

幼児以上

ただし、小学校第3学年以下は、保護者または引率者の管理のもとでファミリールート（マップ参照）のみとする。

4 人数

最大 100 人

※2025年1月に発生した林野火災の影響で、現在コースの一部に火災の跡が残っている箇所があります。
団体で実施の判断をお願いします。

5 実施時期、時間

- (1) 実施時期 通年
- (2) 時間 約1時間

※自衛隊の訓練があるときは実施できない場合がある。

この場合、団体が交流の家に「水晶山登山研修実施届」提出後、交流の家から団体に連絡をする。

6 実施の可否

- (1) 判断時期
 - ① 午前の部・・・8時40分 午後の部・・・12時40分（いずれも研修当日）
 - ② 活動実施中・・・随時

- (2) 可否基準

以下の①～⑦の場合、活動を実施しない。

- ① 局地風（突風）がある場合
- ② 台風の接近が予想できる場合
- ③ 暴風警報が発表されている場合
- ④ 大雨警報が発表されている場合
- ⑤ 雷鳴がしている場合
- ⑥ 原則、熱中症暑さ指数（WBGT）31℃以上または気温 35℃以上の場合
- ⑦ その他、特に水晶山登山に不適切と判断した場合

- (3) 可否の連絡方法

- ① 6（1）①の場合

交流の家職員（以下「職員」）から、8（2）①の総括責任者に知らせる。

- ② 6（1）②の場合

ア 総括責任者が中止を判断した場合は、直ちに総括責任者から交流の家事務室に携帯電話で報告する。

イ 交流の家所長が中止を判断した場合は、直ちに職員が総括責任者に知らせる。



7 準備物

- (1) 個人：登山に適した服装（長袖・長ズボン） 帽子 運動靴 飲み物 タオル
軍手等の手袋
- (2) 引率者：登山に適した服装（長袖、長ズボン） 帽子 運動靴 飲み物 タオル
軍手等の手袋
携帯電話 水晶山登山マップ（交流の家ホームページからダウンロードできます。）
救急バッグ（貸出可） 笛
- (3) 交流の家：マムシ等の写真、通行止め標識等の注意事項説明時に必要な資料は、移動式の掲示板に設置している。（管理棟1階事務室前ロビー）

8 指導・安全管理

- (1) 指導者の配置・人数・役割分担
研修は、「水晶山登山研修」実施要領をもとに、団体が水晶山登山の指導・安全管理等を行う。
- (2) 引率者の配置・人数・役割分担
活動団体で次の役割を持たせる。（小規模の団体は担当を兼ねられる）
 - ①総括責任者（全体の総括、緊急時の連絡担当）・・・1人
 - ②指導担当者（指導、先導、用具の準備、安全管理）・・・1人以上
 - ③監視担当者（頂上手前急斜面での安全確認、安全管理）・・・2人以上
（配置場所については別紙「水晶山登山監視場所」参照）
 - ④救護担当者（健康観察・応急処置・AED設置場所の確認）・・・1人以上
- (3) 引率者は携帯電話で連絡を取り合う。
- (4) 事故発生時の措置
総括責任者は、事故状況を把握し、交流の家に携帯電話で連絡を行う。

9 展開

- (1) 「水晶山登山研修実施届」と「物品利用希望書」（以下、「実施届等」）の提出
団体は実施届等に必要事項を記入し、入所日の10日前までに交流の家に提出する。
- (2) 借用物品受け渡し
救急バックの貸し出しを希望する場合は事務室で受け取る。
- (3) 事前指導
集合場所…かんぼラジオ体操広場
（指導担当者）
 - ① かんぼラジオ体操広場に整列させる。
 - ② 救護担当者に健康観察をさせる。
 - ③ 出発前に必ずトイレを済ませておく。
- (4) 指導担当者は目的、注意事項を説明する。
〈注意事項〉
 - ① 山道は安全を考え基本、真ん中を一列で歩く。
 - ② 山道がない場所には行かない。
 - ③ 通行止め標識があるところには行かない。
実際の通行止め標識を見せながら、立ち入り禁止場所の確認をする。
 - ④ 自然を破壊しない。
 - ⑤ かぶれる木（ハゼ・ウルシ等）や有毒生物（マムシ・ムカデ・ハチ等）には絶対に触らない。
 - ⑥ 林の中は火気厳禁。
 - ⑦ 雨上がりは足元に十分気をつける。
 - ⑧ 適宜休憩をとり、水分補給をする。
 - ⑨ けがや体調が悪くなったら、引率者に直ちに連絡する。



通行止め標識



(5) 水晶山登山

- ① 1列になってスタートする。
- ② 緊急の場合はグラウンドトイレを使用する。

(6) 事後指導

- ① 水分補給をさせる。
- ② 救護担当者に健康観察をさせる。
- ③ まとめをし、解散する。
- ④ 水晶山登山研修終了を交流の家へ報告するとともに、借用物品がある場合は返却をする。

10 連絡先

| | 一般電話番号 | 緊急通報用電話番号 |
|-------------|-----------------------|-----------|
| 江田島消防署（救急係） | 0823-40-0358 | 119 |
| 江田島警察署 | 0823-42-0110 | 110 |
| 江田島青少年交流の家 | 0823-42-0660（代表） | |
| | 0823-42-0661（プログラム担当） | |

水晶山登山マップ

火災跡



山道



チャレンジルート

 幅のある道をロープを使って登る。登り向きがオススメ。

アドベンチャールート

 2段階のロープ使用。道幅が狭く谷が深い。下向きがオススメ。

ファミリールート
 起伏が緩やかで森の中を登り、幼児や高齢者にオススメ。

自衛隊の訓練時は、山頂へは行けません。爆破訓練の予定は、前月末に決定します。

※チャレンジ・アドベンチャールートは使用できません。ファミリールートをご利用ください。



【コース例】
 <小学4年以上> (スタート) 交流の家 → 第2野外炊事場 → どんぐり広場 → チャレンジルート → 山頂 → アドベンチャールート → トイレ付近出入口 → 交流の家(ゴール)
 <幼児・高齢者> (スタート) 交流の家 → テニスコート奥 → ファミリールート → 山頂 → ファミリールート → どんぐり広場 → 第2野外炊事場 → 交流の家(ゴール)